



ガバナー月信

vol.02 Aug / 2025

月信8月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② ローターアクト地区大納会
- ③ 米山記念奨学生第1回親睦交流会
- ④ 第4回派遣学生オリエンテーション・
派遣学生壮行会、受入学生送別会
- ⑤ インターアクト年次大会
- ⑥ 財団委員会通信
- ⑦ 地区主要行事予定（8月・9月）
- ⑧ 新入会員紹介・訃報
- ⑨ コーディネーターニュース
- ⑩ ハイライトよねやま



Rotary
第2560地区



よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー第2560地区
2025-26年度

室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町1574
ホテルイタリア軒B1
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー

室賀 信宏 (白根 RC)

国際ロータリー第 2560 地区のロータリアンの皆様改めまして、こんにちは！

去る 7 月 1 日東京プリンスホテルにて、ガバナー・元・次期ガバナー懇談会が開催されました。オーストラリアで開催されました国際協議会以来、国内同期ガバナーと再会いたしました。あらためて各地区内の運営状況の違いや、運営方法の違いなどを話し合いました。水野 RI 理事はよくこんなことをおっしゃっておいりました。「皆さんの最大のリソースは同期ガバナーです。」その言葉の意味が最近ではよく理解できます。また、懇談会の前、早朝より同期ガバナー朝食会も増上寺にて開催され、国際ロータリー第 2232 地区ウクライナのオルハガバナーも参加されました。ウクライナの惨状を直接お聞きすることができ、日本のロータリーができることを考えさせられました。

先日、マイロータリーにてフランチェスコ・アレツォ RI 会長のインタビュー記事が掲載されているのを読みました。それ以前にアレツォ RI 会長からメールにていただいたメッセージを改めて読み返してみると、私たちが国際協議会にてマリオ RI 会長エレクトより直接お聞きした「よいことのために手を取りあおう」というメッセージは変わらないのですが、内容については変化を感じます。ガバナーの重要なお役目として RI 会長の方針を地区内ロータリアンに正確に発信しなくてはなりません。私自身多少の戸惑いを感じております。今後多方面より情報を収集し地区内の皆様にお知らせいたしたいと考えております。しかしながら RI の重点事項の一つは会員増強、新クラブの創設であります。クラブ活性化セミナーにおいても、各クラブはその問題点について指摘があるクラブもあると思われませんが、お互いに知恵を出し合いソリューションを考え、実践していきましょう！



ローターアクト地区大納会のご報告

2024-25 年度地区ローターアクト代表

小川 雄也 (直江津 RAC)

2025年6月28日(土)上越市の「デュオセレッソ」にて、2024-25年度を締めくくるローターアクト地区大納会を開催しました。ご参加いただいたロータリアンの皆様、ローターアクターの皆様、心より感謝申し上げます。

当日は地区役員引継式が執り行われ、高橋代表エレクトに代表バッチが継承されました。年度末に11名のローターアクト会員が卒会され、当日参加された卒会者の方からは「人間関係が広がった」「内向的な性格を変えるきっかけになった」といった声が寄せられました。

この一年を振り返り、「GROWING COMMUNITY」を地区ターゲットに掲げ、成長し、協力しあえる環境づくりに力を注いでまいりました。

アクトの日では、話題の技術である生成 AI に関する学びを通じて、会員同士が実際にツールを活用しながら知識や視点を交換する場を作ることが出来ました。

第1回地区行事では、群馬・新潟両地区の交流を促進し、親睦を深める貴重な機会となりました。

こども塾ボランティア活動では、ロータリアンの方々と連携して、地域の子どもたちに縁日の催しを提供し、地域貢献への理解と意識を高めるきっかけとなりました。

第2回地区行事では、新潟県の魅力を再発見する「にいがた2キロ」への参加を通じて、地域愛と発信力を育む取り組みを行いました。

そして、第55回地区大会では、例年を上回る人数のご登録をいただき、活気に満ちた大会を開催することができました。

また、本年度よりローターアクト委員会は青少年奉仕プログラムから独立した委員会組織として新たな体制となり、ロータリーファミリーの一員として、より一層自覚と責任をもった活動が求められます。ロータリアンの皆様からの温かいご支援に深く感謝申し上げますとともに、2560地区をより良い地区に出来るよう我々ローターアクトも全力で活動してまいります。

結びに、ロータリアンの皆様をはじめ、小川年度でお世話になりました皆様へ心から御礼申し上げますと共に、皆様の今後ますますのご発展を祈念いたしております。



2025 学年度米山記念奨学生 第1回親睦交流会

米山記念奨学委員会

奨学生学友委員会

豊島 善 (糸魚川中央 RC)

6月14日(土)に、新潟市中央区のピア Bandai ピーカン BBQ にて、2025 学年度第1回米山記念奨学生親睦交流会を行いました。南雲博文ガバナー、室賀信宏ガバナーエレクト、米山記念奨学会理事 高橋秀樹パストガバナーをお迎えし、奨学生24名、カウンセラー18名、地区委員他総勢62名で行いました。

当日は、あいにくの雨になり、テント用パラソルはありましたが雨に濡れると思われるので、カップを用意しました。渡邊嘉子委員長に指名されたグリルマスター(焼く人)が中心となり、バーベキューで皆さんをおもてなしました。

米山記念奨学生親睦交流会は、例年ですと1泊2日で行う親睦旅行のみでしたが、もっと早く奨学生同士が交流出来る場を設けて、ロータリアンとも交流しロータリークラブの活動に触れていただく事等を目的に、年2回行う事といたしました。カウンセラーと奨学生の交流、奨学生同士の交流、カウンセラー同士の交流など、2025 学年度が始まったばかりのタイミングで様々な交流で情報交換をしていただけました。あいにくの天気の中ではありますが、思い出に残る親睦交流会になったと思います。第2回の米山記念奨学生親睦交流会もますます盛り上がるものと思います。

最後になりますが、ロータリアンの皆様、カウンセラーの皆様にはいつもご協力とご理解をいただき、感謝申し上げます。8月24日～25日(日～月)には第2回の米山記念奨学生親睦交流会も予定されております。今後ともよろしくお願い申し上げます。







第4回オリエンテーション 派遣学生壮行会・受入学生送別会

2024-25 年度青少年交換委員会

委員長

神谷 勇一（糸魚川中央 RC）

室賀年度の長期派遣・短期派遣学生の最終オリエンテーションが6月21日、長岡グランドホテルにて開催されました。

昨年の12月よりブラッシュアップされたプレゼンテーションの最終確認を行い全ての学生がレベルの高い資料と相手国の語学による発表を行い学生の努力の成果を確認できました。

また、派遣学生にはアメリカへの交換が決まっていながら地政学的な問題で困惑しておりましたが、遅れながらもビザ取得の目途もつき派遣に向けての準備も整いつつあります。

引き続き、恒例の送別・壮行会では南雲ガバナーより派遣学生への決定通知の授与、受入学生へのディプロマ（プログラム終了書）が行われ、派遣学生、受入学生それぞれよりスピーチをいただきました。

派遣学生は派遣先での目的やチャレンジしたいことなど希望あふれる内容に心強く思いました。

また、受入学生は来日当初からは別人のようなジョークを交えての日本語のみのスピーチに参加者一同、感心しておりました。

今回のスポンサークラブ、高田東 RC、新潟西 RC、新潟南 RC、新潟東 RC、新発田 RC、越後春日山 RC の皆様には心より感謝申し上げます。

また、室賀年度派遣の高田東 RC、村上 RC、村上岩船 RC、糸魚川中央 RC 様には引き続き宜しくお願い申し上げます。





インターアクト年次大会を終えて

インターアクト委員会

委員長

松原 幸人 (長岡 RC)

2025-26 年度、インターアクト年次大会が7月12日、13日の2日間開催されました。

本年度は、県内10校のインターアクトクラブの中から、長岡高等専門学校をホスト校とし、新潟県の中央である長岡市において開催されました。

今年のテーマ「歴史に学び、未来を創造する～持続可能な社会への第一歩」です。長岡市は、江戸末期の戊辰戦争と太平洋戦争時の長岡大空襲という大きな戦火に見舞われ、焼け野原となりました。全てを無くした状況より不死鳥の様に復興した歴史があります。苦難の時代を生き抜き復興に結びつけた経験値を学ぶ機会としました。

現在、地域社会は人口減少や少子高齢化、環境問題など様々な問題を抱えています。新たな苦難の時代を迎えていると思います。大きなテーマではありますが、これらの問題に対してインターアクターが話し合い、考える機会となりました。

一日目はミライエ長岡において、井辺吉伸様より「長岡の産業、歴史、精神を学ぶ」と題して講演していただき、第四北越ミュージアムを見学後グループワークにて、地域社会の問題と解決策を話合ってもらいました。大変難しく、大きなテーマでしたのでまとまるのだろうかと心配したのですが、インターアクトの皆さんの活発に話されている姿を見て素晴らしいと感じました。

二日目は、その発表会と各校の活動報告会が実施されました。発表会では問題点と解決提案が見事に纏められており逞しさを感じました。また、活動報告会では各校、独自色のある活動内容が示され、インターアクター同士の刺激になったと思います。

年次大会の様に、県内のインターアクターが一堂に会する機会は他に無く、インターアクター同士が直接情報交換できる場も多くありません。このような貴重な体験はインターアクターの成長に欠かせない場であると改めて感じました。

大会運営に対して、準備からご協力いただきました実行委員会の皆様と関係各位に改めて感謝を申し上げます。

「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信

ロータリー財団 学友会総会報告

ロータリー財団委員会
奨学金・学友会・VTT 委員会
委員長 本多 晃（新潟 RC）

6月15日ホテルイタリア軒にて2024-25年度のロータリー財団学友会総会が開催されました。当日は南雲博文ガバナー、高橋秀樹学友会会長を始め、佐藤真財団委員長や財団委員17名、GSEメンバー1名、財団学友11名（内2名はzoom参加）と本年度派遣予定の1名からも参加していただきました。総会は南雲ガバナー、佐藤委員長の挨拶で始まり、出席者紹介の後、配布資料を基に欠席者12名の近況報告が行われました。議事では高橋学友会会長より、昨今の状況を鑑み次回より学友の方々からも会費を徴収することが話されました。引き続き同会場にて懇親会が行われました。懇親会では学友（含zoom参加者）、奨学生予定者一人一人から自己紹介や近況の話をしてもらいました。皆さん当時の思い出や、現在の状況など熱く語られ、全員の方が話し終わった時点ですでに閉会の時刻が迫っていました。皆さんのロータリー奨学生に対する思いが十二分に伝わってきました。このことは7月19日に行われたロータリー財団セミナーにおいて、グローバル奨学生の発表を東京在住の2023年度奨学生の青木淳子さんをお願いしたところ、わざわざ会場に足を運んでくださったことから伺えました。出席学友の中で高橋学友会会長と私が生まれた1965年度の方がおられました。当時はまだ戦後20年で1\$が360円という時代でしたが、アメリカでロータリー奨学生としてしっかり対応されたとの話をされました。ロータリーは国境を越えた存在であり、ロータリー財団の奨学金制度がとても良い制度であると再認識しました。残った時間でそれぞれのテーブルで活発な話し合いがもたれ、今年度奨学生予定の方も奨学生経験者からいろいろな話を聞くことができました。閉会のあいさつを高橋学友会会長にいただき終宴となりました。

今後の学友会の益々の発展、及び学友・奨学生予定のみなさんのご活躍を祈念します。また、ロータリー財団学友会、奨学金制度へのご支援とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



第 2560 地区 2024-25 年度 6 月末 会員数報告

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	6月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	-	377	377	45	0
新発田	5	31.5%	87	90	1	3
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	32.4%	33	34	2	1
中条	4	100.0%	49	48	3	-1
新発田城南	4	25.0%	39	38	5	-1
豊栄	3	35.0%	23	20	2	-3
新発田中央	4	11.4%	43	44	6	1
中条胎内	4	51.3%	39	39	11	0
村上岩船	4	26.9%	26	26	7	0
第2分區(9クラブ)	／	-	447	452	32	5
新潟	4	38.4%	78	73	3	-5
新潟東	4	19.7%	62	66	8	4
新潟南	3	37.7%	113	114	8	1
佐渡	2	66.7%	4	3	0	-1
新潟西	4	66.0%	52	53	3	1
佐渡南	4	11.6%	38	43	3	5
新潟北	5	32.4%	37	37	1	0
新潟中央	3	37.5%	23	24	0	1
新潟万代	5	57.9%	40	39	6	-1
第3分區(5クラブ)	／	-	94	96	8	2
新津	4	62.5%	15	16	1	1
村松	4	50.0%	15	18	1	3
白根	4	31.3%	31	32	2	1
新津中央	4	38.5%	27	25	4	-2
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	5	0	-1
第4分區(11クラブ)	／	-	354	343	32	-11
三条	3	18.5%	54	54	0	0
燕	3	7.3%	42	42	3	0
加茂	4	13.3%	29	27	4	-2
三条南	3	21.1%	37	38	3	1
分水	4	66.7%	30	33	4	3
見附	3	10.0%	20	20	1	0
吉田	4	4.3%	24	22	3	-2
三条北	3	19.6%	52	46	5	-6
巻	3	9.1%	26	22	2	-4
田上あじさい	4	16.7%	6	5	2	-1
三条東	3	23.5%	34	34	5	0

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	6月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	-	297	283	27	-14
長岡	3	65.1%	47	43	5	-4
柏崎	3	6.7%	45	45	0	0
長岡東	3	31.6%	60	57	7	-3
柏崎東	3	21.1%	41	38	2	-3
栃尾	3	26.3%	20	19	1	-1
長岡西	4	21.7%	49	46	2	-3
柏崎中央	3	28.6%	35	35	10	0
第6分區(6クラブ)	／	-	114	117	12	3
十日町	3	26.3%	28	38	8	10
小千谷	3	16.0%	27	25	2	-2
雪国魚沼	4	76.0%	26	25	2	-1
十日町北	2	0.0%	10	9	0	-1
津南	4	28.6%	15	12	0	-3
越後魚沼	4	50.0%	8	8	0	0
第7分區(7クラブ)	／	-	303	305	22	2
高田	4	38.1%	67	63	3	-4
直江津	2	35.6%	72	73	6	1
新井妙高	4	22.2%	34	36	1	2
糸魚川	4	78.7%	43	44	3	1
高田東	5	54.5%	33	30	2	-3
糸魚川中央	4	53.1%	26	32	3	6
越後春日山	3	81.5%	28	27	4	-1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
6月末会員数	1,973 人
女性会員数	178 人
純増減会員数	-13 人
My Rotaryアカウント登録率	34.4 %

※ 5 月末会員数の訂正
村上岩船 RC 27 人 (うち女性 7 人) ⇒ 26 人 (うち女性 7 人)
第 2560 地区 2,040 人 (うち女性 181 人) ⇒ 2,039 人 (うち女性 181 人)

地区主要行事予定

2025年7月23日現在

年 月 日			行 事	会 場
2025年 (R7) 室賀年度	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間		
		5	(火) ⑤長岡RC 公式訪問	長岡グランドホテル
		6	(水) ①水原RC、豊栄RC 合同公式訪問	天朝閣
		7	(木) ⑤長岡西RC 公式訪問	長岡ベルナル
		7	(木) 大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
		18	(月) ②新潟万代RC 公式訪問	新潟グランドホテル
		19	(火) ②分水RC 公式訪問	新潟大栄信用組合
		21	(木) ①新発田城南RC 公式訪問	割烹 はまや
		24～25	(日～月) 米山記念奨学生第2回親睦交流会	津南、清津峡、雲洞庵他
		26	(火) ①村松RC 公式訪問	割烹 松の家
		27	(水) ①三条RC 公式訪問	三条信用金庫本店
		30	(土) 長期受入学生オリエンテーション	ホテルイタリア軒
		30	(土) 国際奉仕フォーラム(青少年交換帰国報告会)	ホテルイタリア軒
	9月	基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間		
		1	(月) ⑥津南RC 公式訪問	(株)高橋工務所 2F
		2	(火) ⑤柏崎中央RC 公式訪問	割烹 三井田
		4	(木) ②新潟西RC 公式訪問	ホテル日航新潟
		6	(土) 室賀年度 第2分区IM (大野G補佐・新潟中央)	ANAクラウンプラザホテル新潟
		7	(日) アクトの日	三条市
		8	(月) ⑤柏崎東RC 公式訪問	シャンカーラ
		8～9	(月～火) 第1回ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー (GELS #1)	パシフィコ横浜 会議センター他
		10	(水) 次年度地区ラーニングファシリテーターのためのセミナー	パシフィコ横浜 会議センター
		11	(木) ④見附RC 公式訪問	ホテルつるや
		13	(土) 室賀年度 第3分区IM (池野G補佐・新津)	割烹 榊形屋
		13	(土) 室賀年度 第5分区IM (齋藤G補佐・栃尾)	栃尾産業交流センター おりなす
		16	(火) ④田上あじさいRC 公式訪問	
		17	(水) ⑤柏崎RC 公式訪問	シーユース雷音
		20	(土) 室賀年度 第1分区IM (小泉G補佐・新発田中央)	月岡温泉 ホテル清風苑
		20	(土) 第1回ガバナー補佐ラーニング	長岡駅周辺公共施設
		21	(日) 三年度三役会議・地区諮問委員会・2026-27富山年度結団式	NASPAニューオータニ
		22	(月) ⑦高田東RC 公式訪問	デュオ・セレッソ
		24	(水) 室賀年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会 (第1～3分区)	湯田上カントリークラブ
		25	(木) 室賀年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会 (第4～7分区)	湯田上カントリークラブ
		27	(土) 室賀年度 第4分区IM (青柳G補佐・燕)	燕三条ワシントンホテル
		27	(土) 室賀年度 第7分区IMゴルフ大会	

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟東	中川 美和	2025.04.18	(株)中善酒店	代表取締役	酒類小売業
新潟東	西田 泰士	2025.04.18	第一生命保険(株)	営業部長	生命保険
新潟東	野口 敦弘	2025.04.18	(株)日の出自自動車	常務取締役	建設機械整備
新潟東	田村美知代	2025.04.18	(有)江東商事	取締役	不動産売買
新潟東	渡辺 澄子	2025.04.18	(有)アドミックス	代表取締役社長	広告代理店
新潟東	山田 育永	2025.04.18	アトリエPour Toi	代表	建築設計
新潟東	小宮山 巨	2025.06.06	みずほ証券(株)	新潟支店長	証券業
新潟南	竹之内 慎正	2025.06.11	第一生命保険(株) 新潟支社 万代営業オフィス	オフィス長	生命保険
村上	大滝 哲也	2025.06.19	大滝自動車工業(株)	代表取締役	自動車販売
新潟万代	神谷 功二郎	2025.06.30	ミサワホーム北越(株) 新潟支店	執行役員 業務推進本部長	総合建築業
新潟	島田 好久	2025.07.01	(株)新潟放送	代表取締役社長	放送
吉田	長谷川 巖	2025.07.01	資産運用 自宅	代表	資金運用業
糸魚川	菅原 知之	2025.07.01	明星セメント(株)	代表取締役社長	セメント製造
糸魚川	長谷川 淳一	2025.07.01	東北電力ネットワーク(株)糸魚川電力センター	所長	電力供給
水原	古田 秀衛	2025.07.02	(株)天朝閣 スワンレイクビール	代表取締役社長	ビール製造・販売 冠婚葬祭 飲食業
三条	岩橋 美穂	2025.07.02	(株)第四北越銀行 三条支店	支店長	銀行
三条	本間 幸雄	2025.07.02	(株)ユアテック県央営業所	営業所長	建設業
新井妙高	前田 隆	2025.07.02	日本曹達株式会社生産本部二本木工場	総務部長	薬品製造
村上	長谷川 勝人	2025.07.03	村上信用金庫	専務理事	信用金庫
小千谷	丸山 文昌	2025.07.03	東京電力パワーグリッド株式会社	所長	電力事業
小千谷	位下 史弥	2025.07.03	学校法人東小千谷学園 ひばり認定こども園	園長	教育・保育
中条胎内	田鹿 紀之	2025.07.04	新潟高原リゾート開発株式会社	支配人	ゴルフ場
高田	丸田 健一	2025.07.04	上越ケーブルビジョン株式会社	代表取締役社長	有線テレビジョン放送
高田	武藤 仁志	2025.07.04	アクサ生命保険(株)上越営業所	所長	総合保険
新潟	黒田 達也	2025.07.08	事業創造大学院大学	学長	大学院
新潟	久保 貴義	2025.07.08	積水ハウス(株)	新潟支店長	建設業
長岡東	竹之内 直人	2025.07.09	(株)LAVEET	代表取締役	美容院

【訃報】 ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
長岡東	岩崎 由三	1905/7/17	長岡マイカープラザ(株)	代表取締役会長	中古車販売	1997.02.19入会、2010-11年度クラブ 会長、他地区のローターアクト委員会 など歴任



美味しい、楽しい、優しい台北

台北国際大会推進コーディネーター 出村 知佳子（札幌北 RC）

台北は、日本から大変近く多くの友人がいる国際大会の舞台です。歴史ある文化、美味しい料理、そして人々の温かさ…..そのすべてが、訪れる私たちをやさしく迎え入れてくれます。2026年6月13日から17日まで、台北ドームを中心に開催される「2026年ロータリー国際大会」では、世界中からロータリー会員やロータリーファミリーが集い、友情と奉仕の精神を分かち合い、国際的なつながりを深めます。



主なプログラムは以下の通りです。（すべて台北ドームにて開催）

- 6月14日(日):開会式(午前・午後の2回)
- 6月15日(月):全体会議(午前)
- 6月16日(火):全体会議(午前)
- 6月17日(水):閉会式(午後)

また、RI 理事主催による親善朝食会も予定されています。

- 日時:2026年6月14日(日)7:00 AM
- 会場:圓山大飯店(Grand Hotel Taipei)12階

台北国際大会への登録は【My Rotary】から可能で、登録期間によって参加費が異なります。早めの登録がお得ですので、ぜひこの機会にご予定ください。お一人でも、ご家族やクラブの仲間とでも、台北での貴重な体験を楽しんでいただけると思います。

なお、2026年台北国際大会の日本地区チームは、以下のメンバーで構成されています。

- 第1地域:岡村睦美(第2770地区・川口 RC)
- 第2地域:吉川公章(第2760地区・名古屋南 RC)
- 第3地域:大橋秀典(第2660地区・東大阪東 RC)

私たち日本チーム一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

All Japan で一緒に体験しましょう。

「大会登録はこちらから」

(My Rotary 登録ページ:<https://convention.rotary.org/ja>)





クラブサポートミーティングの目的について

第2 地域 行動計画推進リーダー 桑澤 一郎（茅野 RC）

25-26 年度は、国際ロータリー会長が直前で交代するなど波乱の幕開けとなりました。しかし、会長代われど方針変わらず、のメッセージも発信され、印刷物やバナーなどの取り替えが主な変更作業となっていることと思われます。

一方で日本のロータリーは、水野理事の力強い指導の下、継続性や独自の地域計画によって、地域リーダーによる積極的なサポート態勢が整っております。

地区組織や地域組織の役割は「クラブのサポート」であることは皆さん十分ご理解いただいております。この十数年、社会情勢の急速の変化やコロナ禍を経て、人々の価値観も急速に変化する中で、「ロータリーも変わらなければならない！」とわかっていても「どう変われば良いのか」が見いだせておらず、いわば「あがいている」状態でもあるといえます。

世界的に一定の影響力を持つようになったロータリーは、もっともっと世界を良くしよう、という方針を立て、実現のための戦略の第一優先を「数の力」、つまり「会員増強」と位置づけています。

闇雲な会員増強は、ロータリーやその基本であるクラブの根本を変えてしまう危険を含んでいます。ですから、実は慎重に進めなければなりません。一つの解は「衛星クラブ」です。

「エクスクルーシブ(排他的)なクラブからインクルーシブ(包摂的)なクラブへ変革しなさい」といわれても、「メンバーは選ばれたエグゼクティブの集団である」ことに価値を見出している会員も多くいます。「例会出席や寄付は成功と余裕の証であり、そうした仲間との交流がロータリーに属する価値」である会員が多数いることも事実です。そこに若い人、様々な立場の人をいれて「インクルーシブになれ」といわれてもそんなに簡単には変わりません。

インクルーシブなクラブになる一番の方法が衛星クラブの創立です。ローターアクトクラブでも良いでしょう。若く、汗をかく奉仕活動に意欲のある人たちをメンバーとして迎え、彼らを支援し「自分たちにはできない」地域社会の課題に取り組んでもらうことで、地域社会への影響力を向上させ、地域におけるロータリーの新しいブランドを作ることが出来ます。

今年度から「ガバナー主催のクラブサポートミーティング」や地域リーダー主催の「ガバナーサポートミーティング」が定期開催されます。ガバナーや地域リーダーは単に数字を追うだけではなく(しかし数字も大事です！)、是非こうした戦略的手法の提案で、実質的なクラブサポートに繋げていただきたいと思います。ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。





第3 地域 ポリオ根絶コーディネーター 藤井 秀香（岸和田東 RC）

カルガリーでの国際大会開会式で、ビル・ゲイツ(ゲイツ財団理事長)が「私達は今、岐路に立っています。今後数年間がポリオ根絶のカギとなります。全力を注がなければ、ポリオが無くなったと思っていた国で再発してしまう恐れがあります。根絶を完遂するには、政府、医療従事者そして、ロータリーの皆様の継続な取り組みが不可欠です！」今後三年間パートナーシップを更新し取り組んでください。



去年の末には、感染者数が増えポリオ根絶の「ラストマイル」は、依然として困難な段階です。今年1月、NHK BSで(国際報道 2025 パキスタン根絶間近に見えたポリオ感染急拡大)番組が放映されました。もともと衛生状況が悪いうえ紛争、政治的混乱、気候災害、ハイリスク地域におけるワクチン拒否など、数々の課題による接種率の低下です。随分と長いよね。本当に根絶できるのだろうか？そのような声も聞こえます。尾身茂ポリオ根絶大使は、問題は『根絶されるのか？』ではなく、『いつ根絶されるか！』ということだと仰っています。ゴールは見えていないわけではない。見えております。

2025年4月21日から23日まで、アフガニстанは今年最初の全国的なポリオワクチン接種キャンペーンを実施し、1100万人以上の子供たちに予防接種を行いました。これは隣国のパキスタンでのキャンペーンと同期しました。5月、アフガニстанは2回目の全国キャンペーンを実施し、再びパキスタンと同期しました。この連続した調整は、高い感染シーズンを前に、免疫のギャップを埋め、ウイルスとの戦いを強化するのに役立ちました。

アフガニстанとパキスタンでの4月と5月のキャンペーンは、免疫力を高め、ウイルスのさらなる拡散を防ぐ重要な機会を提供しました。アフガニстанのポリオ根絶プログラムは、すべての子供を守るために適応と革新を続けています。

日本では、95%の子供に母子混合ワクチンを接種しており、年間151億円もかかっています。日本では発症者ゼロですが、根絶しない限り接種は続けなくてはなりません。世界のどこかにポリオウイルスが存在する限り、ほかの国でポリオが再び発生する可能性があり、全世界への感染拡大リスクは無くなりません。ポリオ根絶の取り組みを今ストップしたら、今後10年間に毎年20万人の子どもが身体まひを発症する可能性があります。ポリオプラスへの皆様のコミットメントと寛大な年間寄付は、ポリオの世界的な根絶に具体的な支援を提供し、世界の理解、善意、平和を促進します。

天然痘に次ぐ歴史上2番目の人間の病気を根絶する歴史的な機会は、手の届くところにあります。天然痘がそうであったように、1つの疾病を世界から根絶するのはとてつもなく大きな仕事で、一人でも多くの力が、必要とされています。特定の地域における徹底した定期予防接種、ほかの予防接種活動(キャンペーンなど)の実施、疾病のモニタリングやポリオウイルスを検知するための廃水のサーベイランス(監視)といった活動にも寄付金は使われます。

最近の課題は、米国トランプ政権による予測不能な政策です。ロータリーは、寄付国政府から支援を確保するために、アドボカシーを行ってきました。

ファンドレイジングとは、「与えることの喜び」を人に教える方法です。

ヘンリー・ロッソ（インディアナ大学 Lilly Family）

パキスタンにポリオワクチン投与に参加した折、30 年間のロータリー歴でポリオにさせて頂いた寄付はこの様に使われているのだと感動いたしました。ストーリーテリングとは、物語を使って情報やメッセージを伝える手法のことを指します。ただ単に事実や数字だけを伝えるのではなく、感情を揺さぶるようなポリオ根絶活動や具体的な例（世界ポリオデー、フォトコンテストなど）を伝えることで、相手に印象を与え、共感を得たり行動を促したりする方法で、ファンドレイジング出来ればと考えております。

第 3 地域では全地区ポリオ根絶委員会を設けており、ご寄付や支援するための行事も考えておられます。第 2640 地区の和歌山南 RC は全会員 74 名ポリオプラス・ソサエティ(PPS)に参加くださいました。敬意を表します。国際ロータリー75 周年の年に子供たちへの約束をしたのですからワクチンで予防できる疾病に苦しむ子どもがなくてはなりません。国際ロータリーは揺るぐ事なく最優先事項「ポリオ根絶」に立ち向かっていきます。



1 第 2660 地区米山学友会 40 周年記念式典開催

7月6日、国際ロータリー第2660地区米山学友会の40周年記念式典がシェラトン都ホテル大阪にて開催され、



国内外から約320人が集結しました。当会からは若林紀男理事長と6人の学友委員会委員が臨席しました。開会に先駆け、故小沢一彦名誉理事長の追悼映像の上映と、黙とうが行われました。

3部構成の第1部総会では、同学友会会長の呉偉偉さん(2010-11/青森東RC)の開会の辞、水野功RI理事、同地区の吉川健之ガバナーの挨拶に続き、学友会活動等の報告が行われました。

第2部の記念式典では、実行委員長で同学友会顧問の何玉翠さん(1987-89/奈良RC)の挨拶、若林理事長の祝辞の後、同学友会の歴代会

長、同地区の歴代地区米山記念奨学委員長への記念品贈呈や、海外学友会からの参加者紹介などが行われました。

第3部の懇親会では、米山バンドによる演奏やダンスが披露された後、同地区の現役米山奨学生が紹介され、温かい拍手に包まれました。参加者から「米山奨学事業への熱量の高さに感銘を受けた」という声が挙がるほど、会場は大盛り上がりとなりました。

翌7日は「EXP02025 大阪・関西万博米山ツアー」と題し、各班に分かれて万博会場を散策。約100人が参加し、さまざまなパビリオンを巡りながら最先端技術に触れるとともに、米山奨学生・学友とロータリー会員が交流を深める機会となりました。

2 第 2 回 次期地区米山奨学委員長セミナー開催

6月9日、2025-26年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第2回セミナーを都内会場で開催しました。

午前の部は、神野重行常務理事の挨拶に続き、事務局から学務・学友・広報関連について説明を行いました。午後の部では、事例発表①として、第2760地区の神谷恵理委員長から、海外応募者対象奨学金採用の取り組みについて、続け

て事例発表②として、第2770地区の小川和義次期委員長から、米山奨学事業への理解促進と寄付増進の取り組みについて、それぞれご紹介いただきました。その後4グループに分かれて「指定校選定および学校との連携について」という共通テーマでディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實副理事長の講評で締めくくられました。

米山学友と再会

ホームカミング制度 補助費変更のお知らせ

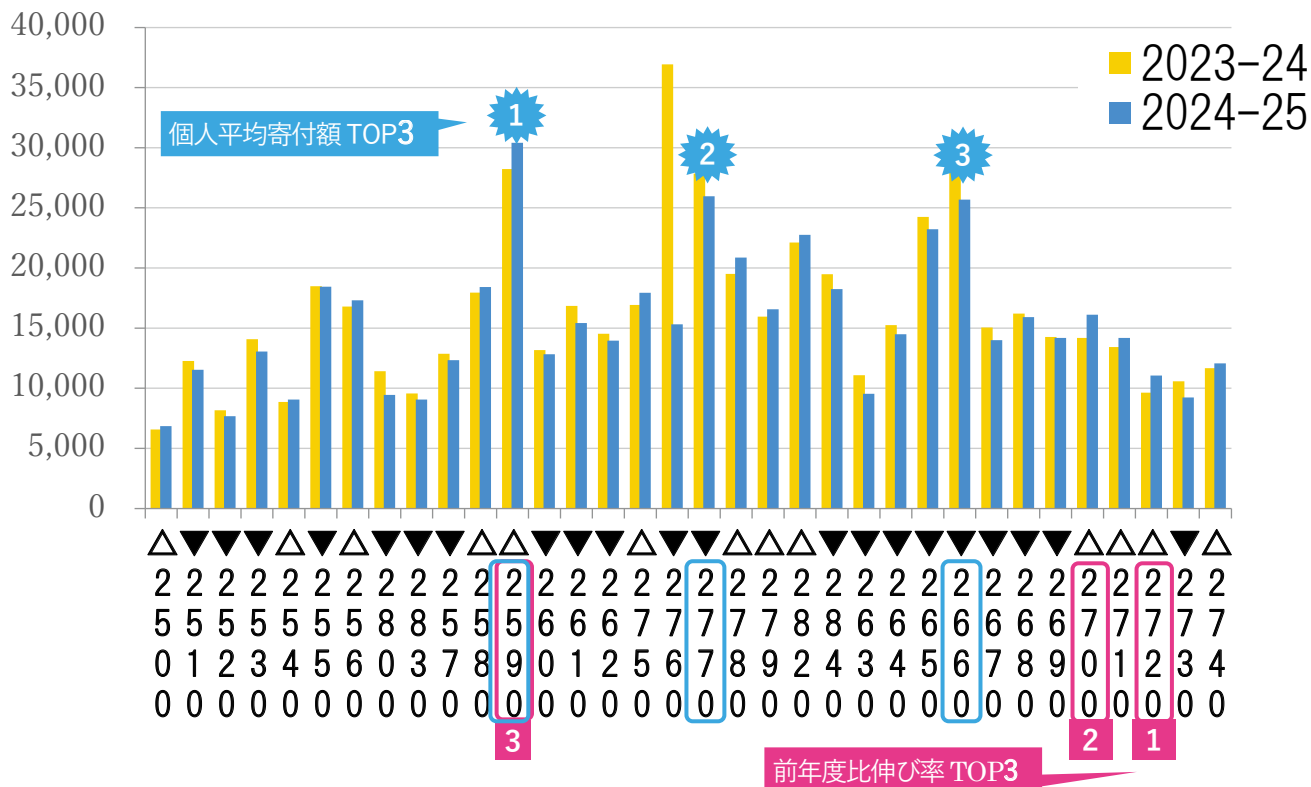
ホームカミング制度の補助費上限はこれまで一律25万円(1人につき)でしたが、2025年度からは、日本国内からの招聘は上限25万円、海外からの場合は上限35万円が支給されます(※実費精算)。各地区が誇る学友を招くため、ぜひ制度をご活用ください。

詳細はこちら



3 2024-25 年度 寄付金結果

2024-25 年度の寄付金は約 13 億 3,000 万円となりました。前年度比 7.9%減（普通寄付金:1.3%減、特別寄付金:10.6%減）、約 1 億 1,500 万円減少しました。ご寄付いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。2025 年度も引き続き、よろしくお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：15,999 円】

① 第 2590 地区：30,406 円 ② 第 2770 地区：25,967 円 ③ 2660 地区：25,685 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2720 地区：114.7% ② 第 2700 地区：113.6% ③ 2590 地区：107.7%

4 新規奨学生へ先輩奨学生が卓話を実演指導

6 月 28 日、国際ロータリー第 2790 地区が新規奨学生向けの第 2 回研修ゼミを成田市内で開催し、現役米山奨学生とカウンセラーら 77 人が参加しました。

この研修は同地区米山記念奨学委員会の主催で毎年行われており、奨学生は例会出席や卓話について、カウンセラーは奨学生本人について、それぞれ理解を深めることを目的としています。

第 1 回の研修は、「ロータリーを知る」をテーマに 5 月 17 日に開催。第 2 回となった今回、「卓話とは何か？どうやって話すのか？」をテーマに、卓話に関する注意事項の共有を行い、先輩奨学生が卓話を実演しました。参加した奨学生からは、「発表の構成が印象的で、日本語の使い方が勉強になりました」といった感想が挙



卓話を実演する米山奨学生

がりました。

2024 年度同学友会会長の玄香花さん（2022-24/木更津東 R C）は、「私も奨学生当時、研修会に参加したおかげで卓話への理解が深まり、非常に役立ちました。奨学生とカウンセラーの距離がぐっと縮まる大変貴重な機会です」と述べました。